

令和 6 年度 ニシン漁獲物調査速報 (4)：小樽地区

1～3 月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 7 年 2 月 12 日夕刻に小樽市漁協で水揚げされたニシンを 13 日に得て、漁獲物調査を実施しましたので結果をお知らせします。小樽市漁協職員の皆様、ご協力ありがとうございました。13 日小樽から余市に帰る際、小樽の塩谷から忍路に至る広い範囲で、大規模な群来が観察できました。

【結果】

1. 漁獲状況

小樽地区ではサイズ別に大きいほうから「1 番」、「2 番」、「3 番」という銘柄がありますが、2 月 12 日では、1 番と 2 番が込みになった漁獲物がほとんどで、「1 番」の漁獲物は 6 箱、「2 番」が 5 箱、そして「3 番」が 6 箱のみでした。

2. 銘柄「1 番」の結果

銘柄「1 番」の標本 41 尾中、オスが 17 尾、メスが 24 尾でした。メスはやや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度 30）である個体が 17 尾（71%）で、卵粒が透明化し、生物測定中に流出するような個体（熟度 40）が 7 個体（29%）でした。不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）であったものはみられませんでした。平均卵巣重量（最小～最大）は、95.7 g（67.2～125.1 g）でした。尾叉長 31 cm 台の個体が多く（図 1）、体重 360～419 g の大型個体が中心となりました（図 2）。

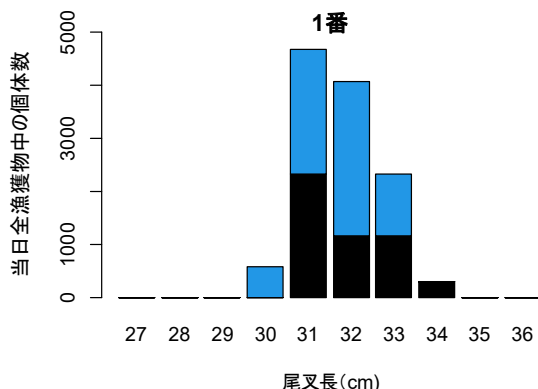


図 1 銘柄「1 番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

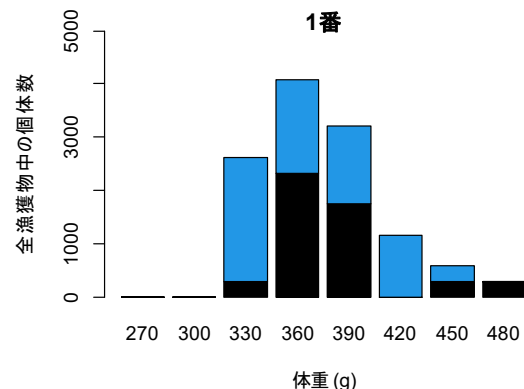


図 2 銘柄「1 番」の体重（黒：オス、水色：メス）

3. 銘柄「2 番」の結果

銘柄「2 番」の標本 51 尾中、オスが 22 尾、メスが 29 尾でした。メスはやや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度 30）である個体が 24 尾（83%）でした。卵粒が透明化し、生物測定中にダラダラと流出するような個体（熟度 40）は 5 尾（17%）で、不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）であったものはみられませんでした。平均卵巣重量（最小～最大）は、76.5 g（58.4～95.8 g）でした。尾叉長 30 cm 台の個体が多く（図 3）、体重 300～359 g の個体を中心とな

っていました（図4）。

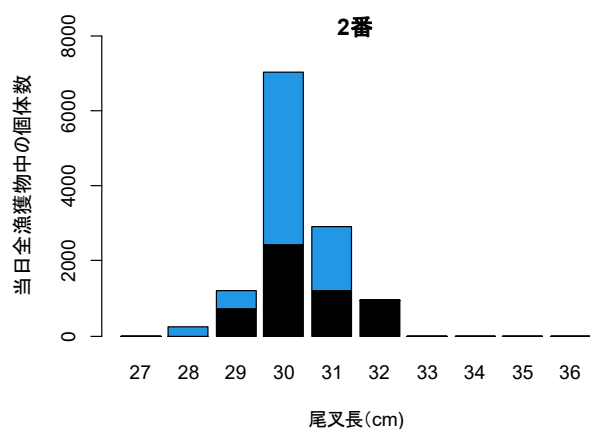


図3 銘柄「2番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

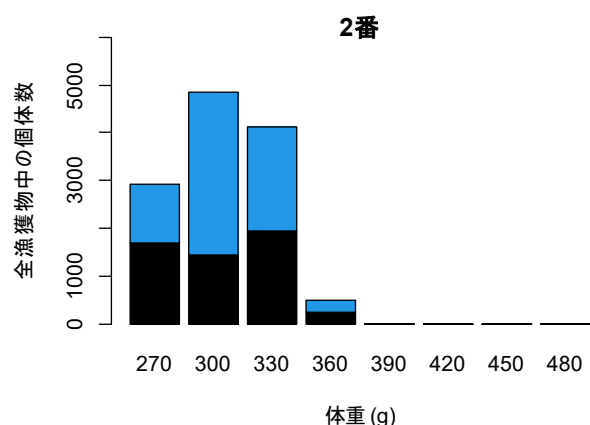


図4 銘柄「2番」の体重組成（黒：オス、水色：メス）

3. 銘柄「3番」の結果

銘柄「3番」の標本32尾中、オスが23尾、メスが9尾でした。メスはやや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度30）である個体が3尾（33%）でした。卵粒が透明化し、生物測定中にダラダラと流出するような個体（熟度40）は6尾（67%）で、不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度22）であったものはみられませんでした。平均卵巣重量（最小～最大）は、61.8 g（48.3～77.8 g）でした。尾叉長28～30 cm 台の個体が多く（図5）、体重240～299 gの個体が中心となっていました（図6）。

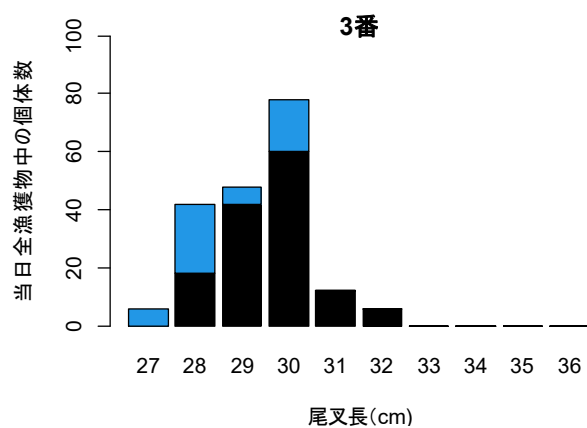


図5 銘柄「3番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

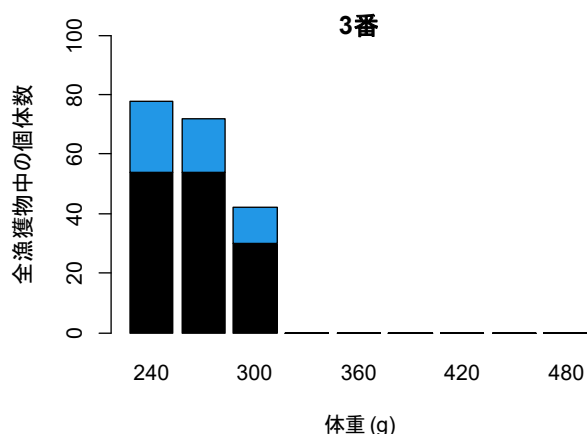


図6 銘柄「3番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

※1番と2番の尾叉長組成と体重組成は、1番と2番が込みになった漁獲物の漁獲量を、銘柄「1番」と「2番」の漁獲量の比で、それぞれの銘柄別漁獲量に割り振った後に計算しています。